



The Y's Men's Club of Gotemba

第335号 4月例会

国際会長主題	「全ての世界に出て行こう」〈エクステンション、エクステンション、エクステンション〉
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」〈ひとつのアジア、世界はひとつ〉
東日本区理事主題	「いざ立て」〈絶えせぬあて望み この身を捧げ尽くさん〉
富士山部部長主題	「誇りあるワイズメンを育てよう」
御殿場クラブ会長主題	「一期一会の縁を大切に」 ふれあい・語らい・思いやり
御殿場クラブ活動方針	1.楽しい例会と卓話の充実 1.親睦重視の活動 1.東山荘をはじめ奉仕活動の充実 1.DBC奈良クラブ・東海クラブとの交流 1.メンバーの増強

会 長	高杉 寿徳
副会長	金光 京子・大和田 浩二
書 記	渡邊 芳子
会 計	前原 末子
監 事	井田 伸太郎

今月の聖句

ヨハネによる福音書 13章 36節

「シモン・ペトロがイエスに言った。『主よ、どこへ行かれるのですか。』イエスが答えられた。『わたしの行く所に、あなたは今ついて来ることはできないが、後について来ることになる。』」

2014年4月度第一例会プログラム

と き	2014年4月10日(木) 18:30より
と ころ	東山荘
受 付	前原 末子 Y's 高橋 啓子 Y's
司 会	鎌野 泉 Y's
1 開会点鐘	会長
2 開会の言葉	司会
3 ワイズソング	司会
4 ワイズの信条	司会
5 聖句について	大和田 浩二 Y's
6 会長挨拶	会長
7 ゲスト・ビジター・メネット紹介	会長
8 食前感謝	金光 京子 Y's
9 会食	
10 卓話 『認知症予防について』	宮下 孔美様
11 誕生日・結婚記念日祝い	自己申告
12 スマイル・YMCA基金・出席率報告	
13 閉会の言葉	司会
14 閉会点鐘	会長

他クラブ例会日一覧です。

例会日程、時間、場所の変更がありますので、例会参加の場合は長田ドライバー委員長へ連絡の上、ご出席下さい。

熱海クラブ	4月28日(月) 熱海後楽園ホテル
沼津クラブ	4月 8日(火) 沼津リバーサイドホテル
伊東クラブ	4月14日(月) 暖香園ボウル
三島クラブ	4月15日(火) 昭明館
下田クラブ	4月16日(水) 下田東急ホテル
熱海グロリー	4月23日(水) 熱海YMCAセンター
富士クラブ	4月 9日(水) ホテルグランド富士
富士宮クラブ	4月22日(火) クリスタルホール『パテオン』

4月お誕生日おめでとう

12日 駒谷 敬子 Y's

4月ご結婚おめでとう

自己申告して下さい。

3月例会報告 (奈良クラブ訪問人数)

在籍数	23名	メネット	0名	スマイル報告	0	BF活動切手	0pt
出席者	13名	コメント	0名	スマイル累計	156,000	現金	0pt
メキップ	10名	ゲスト	0名	YMCA基金	0	累計	0pt
出席率	56.5%	ビジター	0名	YMCA累計	13,992		
修正出席率	100%	出席者合計	13名				

3月度 例会報告

渡邊 芳子

3月12日6時夜明け前の富士山に見送られながら奈良へと出発しました

ごく順調な車の流れで、5時間半くらいで春日大社で待っていてくれた奈良 Y's 高橋会長にお逢いし、おしゃれなお店でおいしい昼食。杉浦 Y's、林 Y's 成子メネットも来て下さり再会を喜びました。

その後、和風のキリスト教会(日本聖公会奈良基督教会)を案内して頂きました。

奈良県で唯一のパイプオルガン(ドイツ製)が設置されており、内部は吉野杉の柱や組格天井が吹き抜けのように高く、一枚板を使った長椅子、説教机、100年以上前から今も音を奏でているオルガン。見応え充分で長椅子に座り、目を閉じたら自然に素直な気持ちになれそうでした。

幼稚園が併設されていて園庭にはいつか実を頂いた銀杏の大きな木が青い空にそびえたっていました。

その後、東大寺山門まで行き夕食。そこから二月堂まで歩きました。



高橋会長の配慮で野木 Y's に車椅子を用意してくれ移動が助かりました。

大松明(おおたいまつ)はお水取りの名で親しまれている二月堂修二会の夜の法会で先導の小さい松明の後足元を照らす灯りとして、60キロ~80キロ程の大松明が11本階段を上り、欄干に乗せられる。放送で拍手はしないでと流れても火花が舞うと思わず歓声と拍手が会場を包んだ。待ち時間を共に過ごした方がその歓声で松明を持つ方の意気があがると教えられた。

二月堂を後にして会長、両林夫妻、浜田 Y's の招待でお茶会へ。

お茶会とは名ばかりでインドカレーの店でおいしいカレ

ーとナンとビールを堪能。

13日は朝9時より出発。杉浦夫妻、宍戸特別メネットも来てくださり朝まだひとけも少ない静かな浮見堂に案内してもらった。

池に架けられた東屋風の建物が雨の輪の広がる水面に映り清々しさに心まで清められました。ひと時を過ごし散策しながら”とびひの“で行われるホルンを使って鹿を集める行事を見ました。奈良の鹿は神様の使いと古代から言い伝えられ大事にされています。

呼び人のホルンが響くと森の奥から鹿道を通っていっせいに飛び出して来ました。多い日は100頭位集まるそうです。この日は70頭位でした。



次に連れて行ってもらったのは会員の過半数の好きな店、老舗の今西酒造で試飲を楽しみ自分へのお土産も買い、徒歩で昼食所へ。奈良はその昔鯖街道でもゆかりがあったそうで鯖の塩焼き定食を頂きました。脂ののったおいしい鯖で奈良最後の味を堪能しました。

今回の旅はちょっと違う奈良をたくさん見せてもらって、発見したこともいろいろあり盛り沢山の旅でした。

高橋会長のおもてなし最高でした。皆様もお疲れ様でした。





火の粉を散らしながら大寺二月堂の舞台を回る
 観衆（長時間露光）奈良県市、水野剛撮影

籠松明 炎打ち振る
 不退の祈り
 お水取り

奈良・東大寺二月堂の修
 二会（お水取り）で12日
 本行中に毎夜ともされる松
 明のうち、ひとさき大きな
 籠松明日本が保持した。長
 さ8尺、重さ60kg以上あ
 り、担いで登る。修行者を見送
 る。お堂の舞台から打ち振
 る。籠松明を空に向けて突き出
 られる炎を、詰めかけた
 万千人が見つめた。
 松明は行のたためし
 ている僧侶、修行者を鑑
 7時、最終日の14日は午後
 6時からある。（松山尚野）

お水取りの様子が奈良の新聞に掲載されました。
 (2014年3月13日奈良の朝日新聞より抜粋)

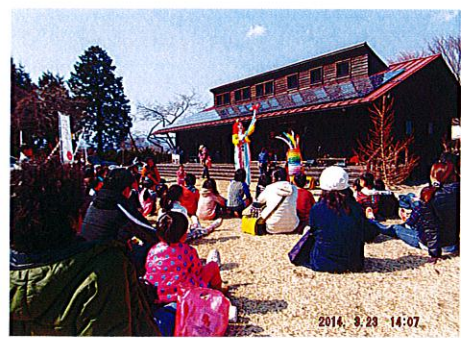


晴天の下の東山荘オープンハウス、

御殿場ワイズ大奮闘！！

大和田 浩二

3月23日（日）午前9時、いよいよ春たけなわかと思わせる快晴の朝、おなじみグリーンジャンパーで統一した御殿場ワイズメンの皆さんが東山荘に集まって来られました。この日は、かねてから準備とPRを重ねて来た東山荘オープンハウス。一人でも多くの御殿場地域の方々に東山荘を良く知っていただくと共に、東山荘がこの地域の防災拠点でも在り得ることをしっかりと認識していただくのが大きな目的です。



フロント主任の横山さんからのオリエンテーションもそこそこに、それぞれ駐車場誘導整理、綿菓子・ポップ



大成功に終わったオープンハウスを中心的に手伝ってくださった御殿場ワイズメンバー13名、メネット1名の計14名でした。皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

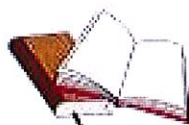


東山荘のボランティアさん。いつも東山荘の踊り場に素敵なお花を生けて下さり、ありがとうございます。

そこここに春色になってきた風景、そしてやさらかな陽ざし、すっかり春の訪れです。先日「日本の七十二候を楽しむ」という本を友人がプレゼントしてくれました。その巻頭には日本は春夏秋冬の四季だけでなく、二十四の気という季節、七十二もの候という季節があると記されていました。古来より自然の流れを“こよみ”として暮らしてきた私達、そうした季節の移ろいをこまやかに感じとって生活してきたのだと思います。二十四節気は立春からはじまり、大寒で締めくくられ一年となります。七十二候とは「東風凍^{こおり}を解く」というのが最初の候の名前です。「桜始めて開く」、「霜止んで苗出ず」、「半夏生ず」、「涼風至る」、等々、季節のそれぞれの出来事をそのまま名前にしているのです。めぐりくる季節の中で、色づく山を眺めたり、道端の草花に目を止めたり、見上げる空であったり、その時季ならではの暮らしや、旬となる自然の恵みもあります。そして、四季がおりなすさまざまな風物詩にふれる喜びもあります。

これらを楽しめる国に生まれてしみじみと幸せだと思わせてくれた本でした。

高橋 啓子



BFだより

2014年3月31日集計分

暖かくなりました、相変わらずBF活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

不要になったものを再生する機能を十分に発揮して？当クラブではプルリング（プルタブ）や使用済み切手の収集を心がけています。

例会で高杉寿徳ワイズが350グラム・若林久美子ワイズが500グラム・杉山博恵ワイズが950グラムをまた、杉山博恵ワイズと高杉寿徳ワイズが使用済み切手を届けてくださいました。

なお、3月24日に小山町福祉協議会へ使用済み切手700グラムをお届けしました。

ご協力ありがとうございました。

手紙が来たら先ず切手を切って・ジュースやビールを飲んだら先ずプルリングを・・・合言葉に収集を！！

四季の歌

1. 春を愛する人は心清き人
すみれの花のような
ぼくの友達
2. 夏を愛する人は心強き人
岩をくだく波のような
ぼくの父親
3. 秋を愛する人は心深き人
愛を語るハイネのような
ぼくの恋人
4. 冬を愛する人は心広き人
根雪を溶かす大地のような
ぼくの母親

